

ごみ処理施設(晴丘センター)の 施設更新に向けて

問 尾張東部衛生組合 ☎0561-54-1643

稼働30年以上が経過

家庭から発生する燃えるごみなどの処理をしている晴丘センターは、稼働から30年以上が経過し、約10年後に施設の寿命を迎えます。万が一故障などで動かなくなると、区域内(瀬戸・尾張旭・長久手市)で発生するごみの処理ができなくなるため、晴丘センターを運営する尾張東部衛生組合で



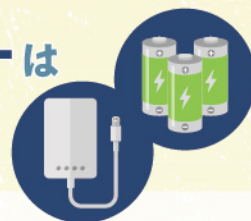
は、将来にわたって安定的にごみが処理できるように施設更新(新施設の建設)の準備を進めています。

今年度は、施設更新に関する計画として、施設整備基本構想と尾張東部衛生組合一般廃棄物(ごみ)処理基本計画を策定し、2024年1月頃からパブリックコメントを実施予定です。

2024年度からは、5年程度かけて、新施設をより環境に優しいものにしていくための環境影響評価などの調査を行い、住民のみなさんからの意見を踏まえて、環境保全の見地から望ましい施設にしてい

リチウムイオン電池やモバイルバッテリーは 正しく分別を

問 環境課 ☎56-0612



近年、晴丘センターでは、モバイルバッテリーなどの混入が原因と思われる発火事案が多発しています。

充電式電池に使用されているリチウムイオン電池などは、圧力や強い衝撃を受けると発火する恐れがあります。もえるごみ、もえないごみで出すことはやめましょう。

充電5品目は、市の収集日に出してください。それ以外の充電電池使用製品は、ながくてエコハウスに出してください。

詳細は資源とごみの分別ガイドブックまたは市HPへ。



▲火災の様子



▲充電5品目の出し方